

アンケート・ヒアリング調査一覧

仕様番号	#	対象	方法・数	調査目的
(1)民間PHRサービスの現状調査	①	民間PHR事業者	アンケート (約300)	・民間PHR事業者が提供するサービスの概況（サービスの内容、取得する情報、情報の入手方法、利用技術等）、基本的指針の認知度及び遵守状況、ビジネスモデル、事業者が認識する課題等について、医師（利用者）がサービス利用実態ならびに安全性等についてサービスを選ぶ際のポイントや留意点を明らかにすることを目的に、当面の間、アンケート調査により定点的に把握を行う。
	②	民間PHR事業者	ヒアリング (約20)	・民間利活用作業班報告書で示された論点（PHRの保存及び管理、相互運用性の確保、データ標準化等）の現状及び課題について、ヒアリング調査により詳細に把握し、今後の検討（事業者団体における論点整理等）に役立てる。
(2)安心・安全な民間PHRサービスの利活用に向けた調査	③	医師	ヒアリング (約20)	・民間PHRサービスの適切かつ円滑な普及展開に向けて、医療現場におけるライフログを含むPHRサービスの利活用状況や留意すべき事項について、医師を対象としたヒアリング調査を実施し、今後、PHRサービスの安全性・有効性の確保に係る検討（事業者団体における論点整理等）に役立てる。 ※アンケート調査実施も検討したものの、対象疾患や診療科によって調査内容が異なる上、有意な回答数が集まらず、十分な代表性のある対象抽出は困難と考えられることから見送ることとする。

- ・ **PHR**：Personal Health Recordの略語。一般的には、生涯にわたる個人の保健医療情報（健診（検診）情報、予防接種歴、薬剤情報、検査結果等診療関連情報及び個人が自ら日々測定するバイタル等）である。電子記録として本人等が正確に把握し、自身の健康増進等に活用することが期待される。
- ・ **PHRサービス**：利用者が、予防又は健康づくり等に活用すること並びに医療及び介護現場で役立てること等を目的として、PHRを保存及び管理並びにリコメンド等を行うサービス。
- ・ **民間PHR事業者**：PHRサービスを個人・団体等に提供する事業者。

(1) 民間PHR事業者向けアンケート実施内容 ①概要

項目	内容
目的	民間PHR事業者が提供するサービスの概況（サービスの内容、取得する情報、情報の入手方法、利用技術等）、基本的指針の認知度及び遵守状況、ビジネスモデル、事業者が認識する課題等について、医師（利用者）がサービス利用実態ならびに安全性等についてサービスを選ぶ際のポイントや留意点を明らかにすることを目的に、当面の間、アンケート調査により定点的に把握を行う。
対象	民間PHR事業者 ①利用者個人、健康保険組合、自治体、医療機関、民間企業等を対象に、PHRサービスを提供している事業者 に加え、 ②PHRサービス事業者に委託等をして、個人向けにPHRサービスを提供している事業者・機関（健康保険組合、自治体、医療機関、民間企業等）
実施方法	・WEBアンケート調査 文献調査から把握できた300事業者程度には、電子メールまたは郵送で回答依頼。 更に関係団体等を通じてアンケート実施の周知を想定
実施期間	・令和3年12月～令和4年1月
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・事業者概要、サービス概要・基本的指針への対応状況・情報セキュリティ対策・個人情報の適切な取り扱い・健診等の情報の保存及び管理並びに相互運用性の確保・広告について・今後の方向性

(2) 民間PHR事業者向けヒアリング実施内容 ①概要

項目	内容
目的	民間利活用作業班報告書で示された論点（PHRの保存及び管理、相互運用性の確保、データ標準化等）の現状及び課題について、ヒアリング調査により詳細に把握し、今後の検討（事業者団体における論点整理等）に役立てる。
対象	・民間PHR事業者（約20事業者）
実施方法	・ヒアリング調査（オンライン・対面）
実施期間	・令和3年12月～令和4年1月
調査項目	・サービス概況 基本情報、サービス内容、データの入手・利用方法、ビジネスモデル ・基本的指針等で示された論点に係る現状と課題 基本的指針への対応状況 情報セキュリティ対策 個人情報の適切な取り扱い 健診等の情報の保存及び管理並びに相互運用性の確保 要件遵守の担保方法 事業者団体への意向

(3) 医師向けのヒアリング実施概要 ①概要

項目	内容
目的	民間PHRサービスの適切かつ円滑な普及展開に向けて、医療現場におけるライフログを含むPHRサービスの利活用状況や留意すべき事項について、医師を対象としたヒアリング調査を実施し、今後、PHRサービスの安全性・有効性の確保に係る検討（事業者団体における論点整理等）に役立てる。
対象	<ul style="list-style-type: none">医師（約20名）
実施方法	<ul style="list-style-type: none">ヒアリング調査（オンライン・対面）
実施期間	<ul style="list-style-type: none">令和3年12月～令和4年1月
調査項目	<ul style="list-style-type: none">PHR、ライフログの利活用経験の有無利活用有の場合、利用実態 （利活用情報、サービスの形態・内容、利活用理由、患者の反応等）今後の利活用意向、要望事項（利活用場面・情報、要求する精度等）利活用時の課題・リスク（情報の精度・安全性、運営上の課題、セキュリティ等） <p>※アウトプットとしては、調査結果は医師ごとに整理するのではなく、医師の所属施設類型やPHRサービス利用目的別に整理する。</p>